

エコアクション21

# 環境経営レポート

2021年度版

(対象期間：2021年9月～2022年8月)



発行日：2022年10月20日

改訂日：2023年04月24日

株式会社 平賀興業所

# 1. 組織の概要

(1) 事業所及び代表者名

会社名：株式会社 平賀興業所

代表者名：※取締役会長 平賀 義一

※代表取締役社長から取締役会長に役職変更（2022年12月12日）

(2) 所在地

本社工場：〒230-0033 神奈川県横浜市鶴見区朝日町1-17-3

出張所：〒230-0035 神奈川県横浜市鶴見区安善町2-4

シエルルブリカンツジャパン(株)横浜事業所内

(3) 法人設立年月日

昭和58年2月18日

(4) 資本金

1,000万円

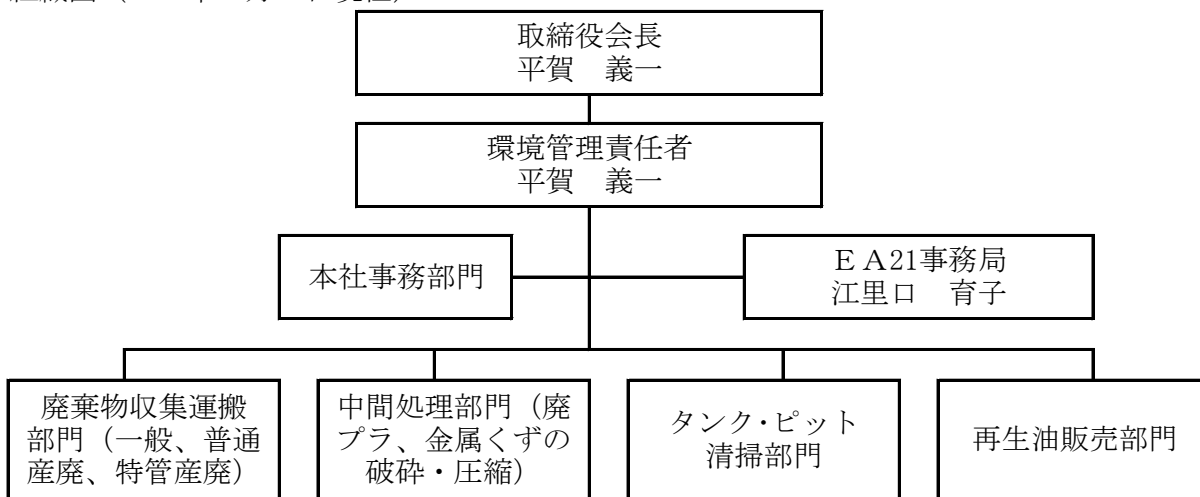
(5) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者：平賀 義一

担当者連絡先：神奈川県横浜市鶴見区朝日町1-17-3

(電話)045-503-5305 (FAX)045-511-5305

(6) 組織図（2022年12月12日現在）



(7) 役割・責任

担当	役割 ・ 責任 ・ 権限
会長	・環境経営方針の決定 ・経営における課題とチャンスの明確化・マネジメントレビューの実施 ・環境管理責任者の任命 ・必要な経営資源の投入
EA21事務局	・EA21の活動状況まとめ ・教育・訓練、緊急事態対応テストの連絡等
環境管理責任者	・環境経営システムの確立・実施・維持 ・社長見直し時にEA21活動状況報告
各部門	・環境経営計画の実施 ・月別部門データの集計 ・問題点の把握と是正の実施

(8) 事業の内容

- ・ 産業廃棄物処分業（中間処理）※
- ・ 産業廃棄物収集運搬業
- ・ 一般廃棄物収集運搬業（横浜市）
- ・ タンク・ピット等清掃業
- ・ 特別管理産業廃棄物収集運搬業
- ・ 再生油販売業

※ 産業廃棄物処分業（中間処理）は2016年8月より開始しています。

## (9) 事業の規模

項目		2019年度	2020年度	2021年度
売上高(百万円)		334.5	336.6	488.7
従業員(人)		13	13	13
本社工場	敷地面積(m <sup>2</sup> )	316.6	316.6	316.6
	床面積(m <sup>2</sup> )	143.8	143.8	143.8
出張所(貸事務所)床面積(m <sup>2</sup> )		50.0	50.0	50.0
タンク・ピット清掃件数(件)		12	7	8
再生油販売量(kℓ)		5,031	5,716	5,835

※1 本社工場の床面積は中間処理場を含んでいます。

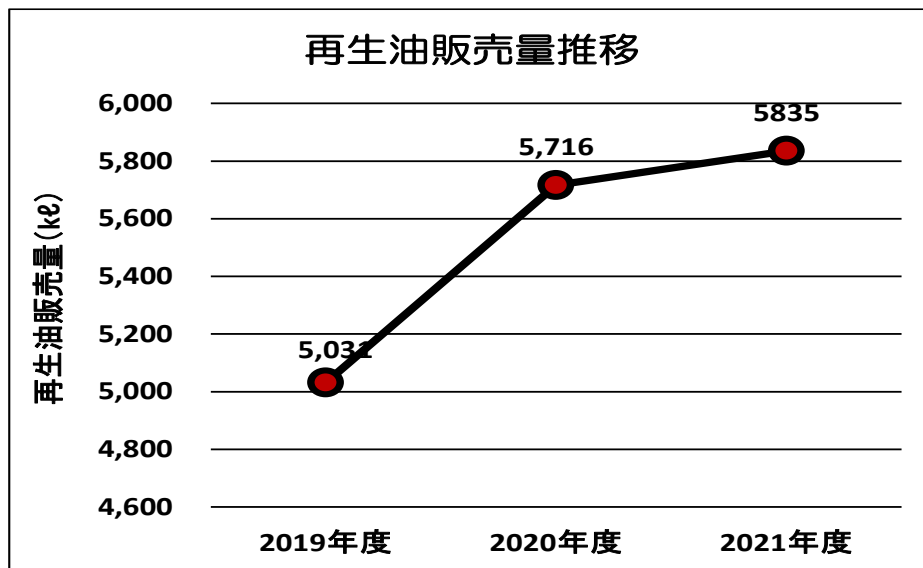
## (10) 環境への負荷の状況

環境への負荷		単位	2019年度	2020年度	2021年度	
①二酸化炭素排出量		kg-CO <sub>2</sub>	129,048	166,021	170,999	
②受託した廃棄物の処理量(産廃+一般廃)	産業廃棄物収集運搬量	t	2,887	3,234	3,007	
	産業廃棄物中間処理量	t	37.4	107.2	76.3	
	一般廃棄物収集運搬量	t	696	671	666	
③自社廃棄物排出量	一般廃棄物	t	0.2	0.2	0.2	
	産業廃棄物	t	22.6	59.4	31.9	
④-1 総排水量	公共用水域	m <sup>3</sup>	240	271	248	
④-2 水使用量	上水	m <sup>3</sup>	240	271	248	
⑤化学物質使用量	なし	kg	0	0	0	
⑥エネルギー使用量	購入電力(出光興産)		kWh	13,515	14,112	14,999
	化石燃料	軽油	ℓ	44,711	58,661	60,258
		ガソリン	ℓ	3,129	3,430	3,618
⑦物質使用量	資源使用量(用紙)	kg	90.0	90.0	90.0	
	循環資源使用量	t	0	0	0	
⑧サイト内で循環的利用を行っている物質等	利用された物質	t	0	0	0	
	水の利用量	m <sup>3</sup>	0	0	0	

注1) 使用電力によるCO<sub>2</sub>の排出係数は、2018年12月に環境省が公表した「電気事業者別排出係数」から出光興産(株)の調整後排出係数『0.476kg-CO<sub>2</sub>/kWh』を使用しています。

注2) PRTR制度対象物質としての化学物質の使用はありません。

【各種データの推移グラフ抜粋】



(11) 産業廃棄物業の許可の内容

産業廃棄物収集運搬業・処分業、特別管理産業廃棄物収集運搬業許可情報総括表

①産業廃棄物収集運搬業

No.	都道府県	許可番号	許可年月日 及び有効期限	許可品目(●又は◎印)															
				燃 之 殻	汚 泥	廃 油	廃 酸	廃 アル カリ	廃 プラ スチ ック 類	紙 く ず	木 く ず	絨 維 く ず	動 植 物 性 残 さ	ゴ ム く ず	金 属 く ず	ト ・ 陶 磁 器 く ず	ガ ラ ス ・ コ ン ク リ ー	鉞 さ い	が れ き 類
1	神奈川県	※8 01403003956	2022年12月6日 2029年9月3日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
2	東京都	※8 1300003956	2016年5月6日 2023年5月5日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
3	千葉県	※8 01200003956	2016年5月18日 2023年5月17日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
4	埼玉県	※8 01101003956	2016年3月16日 2023年3月15日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
5	茨城県	※8 00801003956	2016年5月19日 2023年5月18日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
6	栃木県	※8 00900003956	2016年5月12日 2023年5月11日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
7	群馬県	※8 01000003956	2022年12月27日 2029年12月26日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
8	福島県	※8 00707003956	2017年5月1日 2024年4月30日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
9	長野県	※8 2009003956	2016年6月23日 2023年6月22日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
10	和歌山県	※8 3000003956	2016年7月12日 2023年7月11日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
11	広島県	※8 03400003956	2017年3月26日 2024年3月25日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
12	静岡県	※8 02201003956	2019年10月9日 2026年10月8日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
13	横浜市	※8 05610003956	2021年1月1日 2027年12月31日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
14	山形県	0609003956	2018年9月6日 2023年9月5日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
15	新潟県	01509003956	2019年4月19日 2024年4月18日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
16	秋田県	00506003956	2019年5月21日 2024年5月20日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
17	福岡県	04000003956	2019年11月26日 2024年11月25日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
18	宮城県	00400003956	2020年4月14日 2025年4月13日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
19	岡山県	03300003956	2020年4月13日 2025年4月12日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
20	兵庫県	02806003956	2020年7月6日 2025年7月5日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
21	山梨県	01900003956	2021年2月18日 2026年2月17日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

注) ●は積替え・保管を除く ◎は積替え・保管を含む

※1 石綿含有産業廃棄物を含む。

※2 石綿含有産業廃棄物を含み、自動車等破砕物を除く。

※3 自動車等破砕物を除く。

※4 ※2+含水率85%以下のものに限る。

※6 廃プリント配線板、廃ブラウン管、鉛製の管又は板、廃石膏ボード、廃容器包装、自動車等破砕物及び石綿含

※7 工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。

※8 東京都ほか、神奈川、群馬、千葉、埼玉、茨城、栃木、長野、和歌山、広島、福島、静岡の各県と横浜市の産業廃棄物収集運搬許可証については優良産廃処理業者認定を取得済みです。

※23 (※11)+(※22) ※27 (※9)+(※10)

- ※9 水銀使用製品産業廃棄物を含む。 ※10 水銀含有ばいじん等を含む ※24 (※3)+(※10)  
 ※11 石綿含有産業廃棄物を及び水銀使用製品産業廃棄物を含む。 ※25 (※1)+(※12)  
 ※12 水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を含む。 ※26 (※10)+(※14)+(※21)  
 ※13 (※2)+(※12)。 ※14 水銀使用製品産業廃棄物を除く。 ※15 水銀含有ばいじん等を除く。  
 ※16 (※3)+(※9)。 ※17 (※3)+(※11)。 ※18 (※10)+(14)。 ※19 (※14)+(※15)。  
 ※20 (※2)+(※14)+(※15) ※21 石綿含有産業廃棄物を除く、※22 自動車等破砕物を含む。

②産業廃棄物処分業

産業廃棄物処分業(中間処理)			許可品目		
22	横浜市	※1 05620003956	2021年8月1日 2028年7月31日	破砕:廃プラスチック類、木くず、ガラス・コンクリートくず及び陶磁器くず 圧縮:廃プラスチック類、金属くず	※いずれも特別管理産業廃棄物であるものを除く

※1 産業廃棄物処分業許可は優良産廃処理業者認定を取得済みです。

③特別管理産業廃棄物収集運搬業

特別管理産業廃棄物収集運搬業				許可品目(●又は◎印)														
No.	都道府県	許可番号	許可年月日及び有効期限	感 染 性 産 業 廃 棄 物	廃 油	廃 酸	廃 アル カリ	廃 石 綿 等	廃 P C B 等	廃 P C B 汚 染 物 等	廃 P C B 処 理 物	特定有害産業廃棄物 (金属等を含む廃棄物)						
												汚 泥	燃 え 殻	ば い じん	廃 油	鉍 さ い	廃 酸	廃 アル カリ
23	神奈川県	※15 01453003956	2022年12月6日 2029年9月3日	●	●※1	●※2	●※3	●※4	●※24	●※25	●※26	●	●	●	●	●	●	●
24	東京都	※15 1357003956	2016年5月6日 2023年5月5日		●※1	●※2	●※3	●※4	●※23	●※23		●	●	●	●	●	●	●
25	千葉県	※15 01250003956	2016年5月18日 2023年5月17日		●※1	●※2	●※3	●※5				●	●	●	●	●	●	●
26	埼玉県	※15 01150003956	2016年3月16日 2023年3月15日		●※1	●※2	●※3	●										
27	福島県	※15 00757003956	2017年5月1日 2024年4月30日		●	●	●	●				●				●	●	
28	長野県	※15 2059003956	2016年6月23日 2023年6月22日		●													
29	大阪府	※15 02750003956	2018年4月14日 2025年4月13日					●										
30	茨城県	※15 00851003956	2021年6月3日 2027年12月24日		●	●	●	●				●	●	●	●	●	●	
31	広島県	※15 03450003956	2021年1月15日 2028年1月14日		●	●	●	●				●	●	●	●	●	●	●
32	横浜市	※15 05660003956	2021年1月1日 2027年12月31日	●	◎	◎	◎	◎				●	●	●	●	●	●	●
33	山形県	※15 0659003956	2022年3月8日 2029年2月9日		●			●				●	●	●		●		
34	新潟県	01559003956	2019年4月19日 2024年4月18日		●	●	●	●				●				●		
35	秋田県	00556003956	2019年5月21日 2024年5月20日		●	●	●	●				●	●	●	●	●	●	●
36	福岡県	04050003956	2019年11月26日 2024年11月25日	●	●	●	●	●				●	●	●	●	●	●	●
37	宮城県	00450003956	2020年4月14日 2025年4月13日	●	●	●	●	●				●	●	●	●	●	●	●
38	岡山県	03350003956	2020年4月13日 2025年4月12日	●	●	●	●	●				●	●	●	●	●	●	●
39	神戸市	06950003956	2020年7月30日 2025年7月29日	●	●	●	●	●				●	●	●	●	●	●	●
40	群馬県	01050003956	2021年1月8日 2026年1月7日		●	●	●	●				●	●	●	●	●	●	●
41	山梨県	01950003956	2021年2月18日 2026年2月17日	●	●	●	●	●										

注) ●は積替え・保管を除く ◎は積替え・保管を含む

- ※1 揮発油類、灯油類及び軽油類に限る。 ※2 水素イオン濃度指数2.0以下のものに限る。  
 ※3 水素イオン濃度指数12.5以上のものに限る。 ※4 廃石綿等、金属等を含む特定有害産業廃棄物。  
 ※5 鉱さい、ばいじん、燃え殻、塵埃、汚泥、廃酸、廃アルカリに限る。  
 ※6 鉛又はその化合物を含むことのみにより有害なものに限る。  
 ※7 ※1+又はトリクロロエチレン、テトラクロロエチレンを含むことのみにより有害なものに限る。  
 ※8 ※1+並びにトリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1・2-ジクロロエタン、1・1-ジクロロエチレン、シス-1・2-ジクロロエチレン、1・1・1-トリクロロエタン、1・1・2-トリクロロエタン、1・3-ジクロロプロペン、及びベンゼンを含むことにより有害なものに限る。  
 ※9 ※2+並びにカドミウム又はその化合物、鉛又はその化合物、有機燐化合物、六価クロム化合物、砒素又はその化合物、シアン化合物、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1・2-ジクロロエタン、1・1-ジクロロエチレン、シス-1・2-ジクロロエチレン、1・1・1-トリクロロエタン、1・1・2-トリクロロエタン、1・3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン又はその化合物及びダイオキシン類を含むことにより有害なものに限る。  
 ※10 ※3+並びにカドミウム又はその化合物、鉛又はその化合物、有機燐化合物、六価クロム化合物、砒素又はその化合物、シアン化合物、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1・2-ジクロロエタン、1・1-ジクロロエチレン、シス-1・2-ジクロロエチレン、1・1・1-トリクロロエタン、1・1・2-トリクロロエタン、1・3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン又はその化合物及びダイオキシン類を含むことにより有害なものに限る。  
 ※11 カドミウム又はその化合物、鉛又はその化合物、六価クロム化合物、砒素又はその化合物、セレン又はその化合物及びダイオキシン類を含むことのみにより有害なものに限る。  
 ※12 カドミウム又はその化合物、鉛又はその化合物、有機燐化合物、六価クロム化合物、砒素又はその化合物、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1・2-ジクロロエタン、1・1-ジクロロエチレン、シス-1・2-ジクロロエチレン、1・1・1-トリクロロエタン、1・1・2-トリクロロエタン、1・3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン又はその化合物及びダイオキシン類を含むことのみにより有害なものに限る。  
 ※13 カドミウム又はその化合物、鉛又はその化合物、六価クロム化合物、砒素又はその化合物及びセレン又はその化合物を含むことにより有害なものに限る。  
 ※14 各都道府県、政令都市の特定有害産業廃棄物に係る含有化学物質の詳細については、それぞれの許可証の別表をご参照ください。  
 ※15 神奈川県、横浜市、東京都、千葉県、埼玉県、福島県、長野県、大阪府、茨城県、広島県の特別管理産業廃棄物収集運搬業許可証については優良産廃処理業者認定を取得済みです。  
 ※16 ※1+又は※19 ※17 ※2+又は※19 ※18 ※3+又は※19  
 ※19 許可証の別記1に記載の有害物質を含むことのみにより有害なものに限る。  
 ※20 ダイオキシン類を含むことのみにより有害なものに限る。  
 ※21 鉛又はその化合物、六価クロム化合物及びダイオキシン類を含むことのみにより有害なものに限る。  
 ※22 鉛又はその化合物、六価クロム化合物を含むものに限る。  
 ※23 低濃度PCB廃棄物に該当するものに限る。  
 ※24 低濃度PCB汚染廃油に限る。  
 ※25 低濃度PCB処理物に限る。  
 ※26 低濃度PCB汚染物に限る。

(12) 産業廃棄物施設の状況

①車両

車両形式	最大積重量(kg)	積載可能寸法	保有台数 (台)
		全長×幅×高さ (cm)	
脱着装置付コンテナ車	11,500	905×249×310	1
脱着装置付コンテナ車	3,900	586×219×240	1
脱着装置付コンテナ車	3,550	586×219×268	2
塵芥車	2,550	647×210×231	1
塵芥車	2,500	648×209×230	1
キャブオーバ	3,950	696×234×272	1
バン	13,900	1,199×249×376	1
合計			8

② 産業廃棄物及び特別管理廃棄物の積み替え保管施設

《積み替え保管を行う場合の所在地、面積、産業廃棄物の種類、及び保管上限》

施設住所	神奈川県横浜市鶴見区朝日町一丁目17番3	
設置年月日	令和3年8月1日	
面積・保管上限	産業廃棄物	保管面積：42.228 平方メートル 保管上限：46.5 立方メートル
	特別管理産業廃棄物	保管面積：0.019 平方メートル 保管上限：0.004 立方メートル
保管できる産業廃棄物の種類	産業廃棄物	汚泥、廃油、廃プラスチック類(石綿含有物を含む)、金属くず、木くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石綿含有物を含む)、がれき類(石綿含有物を含む)
	特別管理産業廃棄物	廃油(揮発油類、灯油類及び軽油類に限る)

(13) 産業廃棄物収集運搬業の具体的な計画

①産業廃棄物収集運搬計画（2020年度）

汚泥；700トン 廃油；300トン 廃プラスチック類；60トン 木くず；150トン  
 金属くず；100トン 鋳さい；60トン がれき類；80トン （合計1,500トン）

(14) 環境保全措置

- ・分別収集運搬を心掛け、作業を迅速に行うとともに搬送時は必ずシート掛けをして飛散防止対策を行う。
- ・ドラム缶などは必要に応じてロープなどで固定して搬送する。
- ・車両や容器などは清潔な状態であるように努める。
- ・収集運搬の緊急時に備えて、従業員に教育活動を行う。
- ・エコアクション21認証を維持する。

(15) 産業廃棄物の受入・運搬量・中間処理量（2020年度：2020年9月～2021年8月）

① 産業廃棄物の受入・運搬量

単位(t)

種類	2019年度	2020年度	2021年度
汚泥	1080.3	1049.8	1392.5
廃油	1225.5	1467.8	1119.4
廃アルカリ	19.9	119.5	0.0
廃プラスチック類	87.9	83.4	103.1
木くず	119.8	70.5	70.0
繊維くず	7.1	1.9	0.0
金属くず	112.2	150.8	81.7
ガラス・コンクリート・陶器くず	2.0	6.3	10.8
鋳さい	54.0	131.7	58.8
がれき類	64.6	26.6	52.2
廃油 <sup>※1</sup>	80.4	90.6	61.0
廃石綿 <sup>※1</sup>	22.5	20.7	40.3
強酸 <sup>※1</sup>	6.2	14.5	17.1
感染性廃棄物 <sup>※1</sup>	0.3	0.1	0.2
PCB汚染物 <sup>※1</sup>	4.7	0.0	0.8
合計	2887.3	3234.1	3007.9

注1) 受入量と運搬量は同数です。  
 注2) ※1は「特別管理産業廃棄物」の扱いです。

② 中間処理量

種類	2019年度	2020年度	2021年度
廃プラスチック	17.1	22.6	20.0
金属くず	20.2	25.1	24.5
合計	37.4	47.7	44.5



(16) 一般廃棄物許可の内容

一般廃棄物収集運搬業			
No.	市町村	許可番号	許可年月日 及び有効期限
1	横浜市 (更新中)	資一指令第101号 許可番号第1112号	2020年4月1日 2022年3月31日

(17) 一般廃棄物用収集車両

車両形式	最大積載量 (kg)	積載可能寸法	保有台数
		全長×幅×高さ (cm)	(台)
脱着装置付コンテナ車	3,900	586×219×240	1
塵芥車	2,550	647×210×231	1
塵芥車	2,500	648×209×230	1
		合計	3

(18) 一般廃棄物収集運搬量実績 (2017年9月～2020年8月)

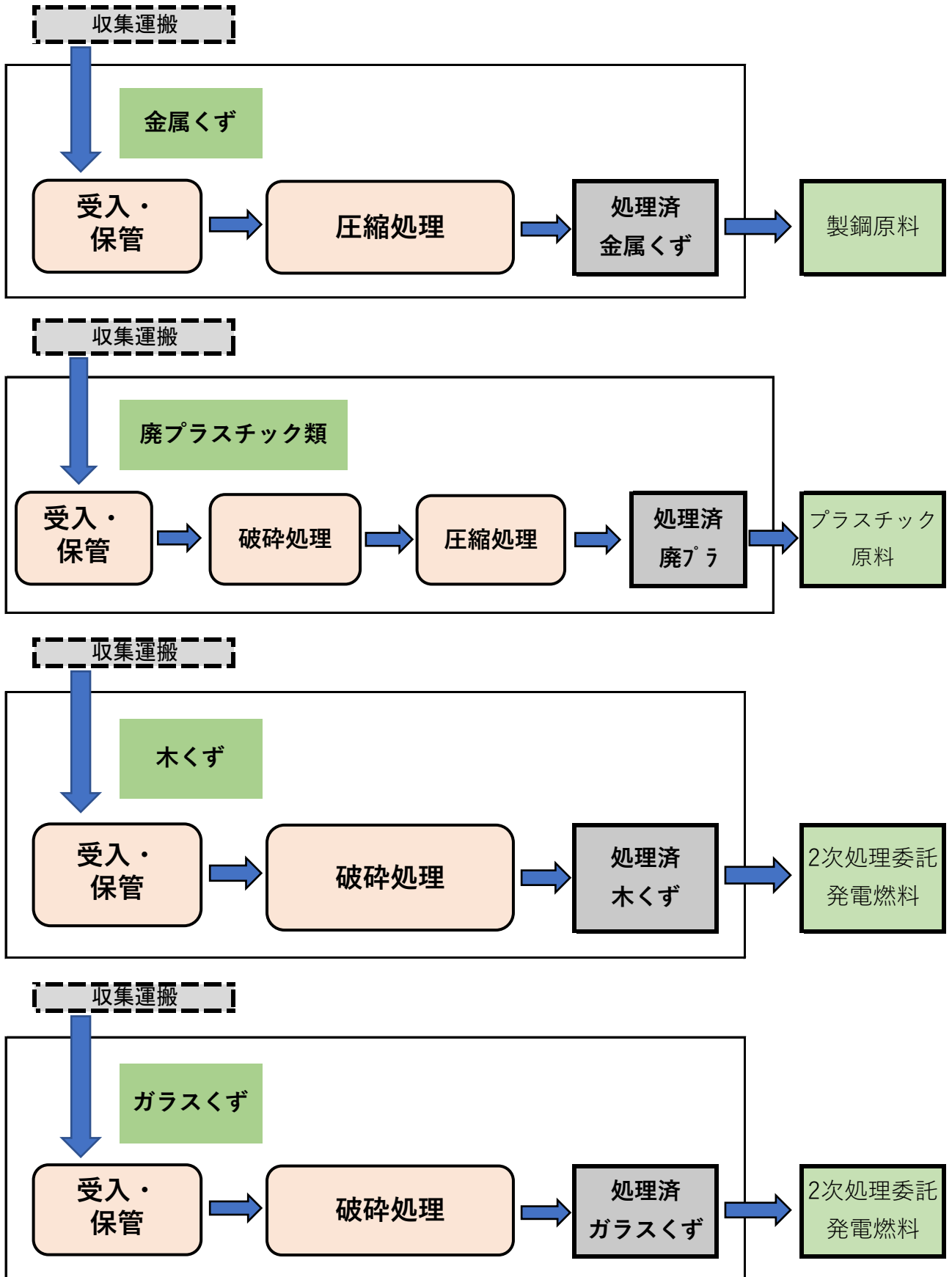
種 類	単位	2019年度	2020年度	2021年度
受託一般廃棄物	t	696	671	666

(19) 産業廃棄物処分 (中間処理) 施設概要

所在地：神奈川県横浜市鶴見区朝日町一丁目17番3

1. 施設の種類：破砕施設 1基  
設置年月日：平成28年7月21日  
破砕施設：廃プラスチック類 3.8t/日 (8時間) 木くず4.2t/日 (8時間)  
ガラスくず・コンクリート・陶磁器くず 4.9t/日 (8時間)
2. 施設の種類：圧縮施設 1基  
設置年月日：平成28年7月21日  
圧縮施設：廃プラスチック類 7.2t/日 (8時間) 金属くず 29.6t/日 (8時間)
3. 保管量：中間処理に伴う産業廃棄物の保管量は、巻末、産業廃棄物処分業事業の施設一覧参照

(20) 産業廃棄物処分（中間処理）の処理工程図



(注) 上記 (19) (20) に記述の案件は平成28年8月に事業展開を開始している産業廃棄物処分業（中間処理）における内容です。  
※中間処理場の詳細につきましては、巻末の施設一覧をご参照ください。

## 2. 対象範囲（認証・登録範囲）

対象事業所： 本社工場、出張所

対象事業活動：産業廃棄物処分業（中間処理）※1産業廃棄物収集運搬業  
特別管理産業廃棄物収集運搬業

一般廃棄物収集運搬業、タンク・ピット等清掃業、再生油販売業

エコアクション21認証登録番号： 0010603

エコアクション21認証登録日： 2015年5月19日

※1 産業廃棄物処分業（中間処理）については2016年8月から事業展開を開始しています。

## 3. 環境経営方針

### 株式会社 平賀興業所

## 環境経営方針

#### 《基本理念》

株式会社平賀興業所は、廃棄物の収集運搬業を主たる業務とし、産業廃棄物の中間処理や各種の清掃作業なども請負う企業として、顧客に対し安心して任せられる企業を目指し、廃棄物の適正処理に取り組みます。またさらに地球温暖化や資源保護の問題を人類共通の重要課題と認識し、環境保全活動に取り組み、循環型社会の構築に貢献します。

#### 《行動指針》

1. 具体的に次の項目に取り組みます。

- ① 収集運搬車両及び機械設備や重機類の使用による燃料や電力を節約し、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- ② 受託廃棄物の収集運搬量の拡大をはかり、適正処理事業を推進します。
- ③ 分別の徹底により、当社の排出する廃棄物の削減に努めます。
- ④ 節水の徹底により、水資源使用の節約に努めます。

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

3. 環境方針及び環境活動を全従業員へ周知し、環境活動を推進します。

2014年10月1日制定

2022年12月12日改訂

株式会社 平賀興業所

取締役会長 **平賀義一**

#### 4. 環境経営目標

2019年度（2019年9月～2020年8月）の実績を基準とし、3ヶ年分の中期計画の環境経営目標を設定しました。

##### 2020～2022年度 環境経営目標

No.	環境経営目標項目	基準値 (2019年度)	2020年度目標 (2020年9月～ 2021年8月)	2021年度目標 (2021年9月～ 2022年8月)	2022年度目標 (2022年9月～ 2023年8月)
1	電気使用量の削減	2019年度実績 1,274 kWh/月	1%削減 (1,261 kWh/月)	2%削減 (1,249 kWh/月)	3%削減 (1,236 kWh/月)
2	軽油使用量の削減 (燃費の向上) ※1	2020年度実績 3.70 km/L	現状維持 (4.46 km/L)	現状維持 (3.70 km/L)	現状維持 (3.70 km/L)
*	二酸化炭素排出量 の削減 ※1	2020年度実績 (15,991 kg-CO <sub>2</sub> /月)	1%削減 (10,646 kg-CO <sub>2</sub> /月)	2%削減 (15,671 kg-CO <sub>2</sub> /月)	3%削減 (15,511 kg-CO <sub>2</sub> /月)
3	廃棄物収集運搬量 の拡大 ※2	2019年度目標 299 t/月	1%拡大 (302 t/月)	2%拡大 (305 t/月)	5%拡大 (308 t/月)
4	水使用量の削減 ※1	2020年度目標 50 m <sup>3</sup> /2ヶ月	現状維持 (42.0 m <sup>3</sup> /2ヶ月)	現状維持 (50m <sup>3</sup> /2ヶ月)	現状維持 (50m <sup>3</sup> /2ヶ月)
5	自社からの廃棄物 排出量削減	—	現状維持 (分別基準の順守)	現状維持 (分別基準の順守)	現状維持 (分別基準の順守)
6	出張所の環境活動	—	/	活動実績 (活動の有無)	活動実績 (活動の有無)

※1 二酸化炭素排出量、軽油使用量、水使用量の削減については、2020年度の実績を基にそれぞれ削減目標を設定しました。

※2 廃棄物収集運搬量は「産業廃棄物」と「特別管理産業廃棄物」及び「一般廃棄物」の収集運搬量を合計しています。

#### 5. 環境活動計画（主な施策）

- |   |   |
|---|---|
| <p>① 二酸化炭素排出量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 下記②及び③のテーマ活動の推進</li> </ul> <p>② 電気使用量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空調の適正温度管理</li> <li>・ 節電教育の実施</li> </ul> <p>③ 軽油使用量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ エコドライブの推進</li> <li>・ 配車の最適化</li> <li>・ アイドリング・ストップ<sup>o</sup>の励行</li> </ul> | <p>④ 受託廃棄物の収集運搬量拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 顧客への啓蒙活動とPRの推進</li> </ul> <p>⑤ 自社からの廃棄物排出量削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 失敗コピーの削減</li> <li>・ コピー用紙の裏紙再利用</li> <li>・ 産業廃棄物、中間処理廃棄物の分別の徹底</li> </ul> <p>⑥ 上水使用量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 節水意識向上教育の実施</li> <li>・ 節水表示</li> </ul> |
|---|---|

#### 6. 環境経営目標の実績

No.	環境経営目標項目	基準値	2021年度目標 (2020年9月～ 2021年8月)	結果	評価
1	電気使用量の削減	1,274kWh/月	2%削減 (1,249 kWh/月)	0.1%増 (1,250 kWh/月)	×
2	軽油使用量の削減 (燃費の向上)	3.70m/L	現状維持 (3.70 km/L)	6.2%向上 (3.93km/L)	○
*	二酸化炭素排出量の削減	15,991 kg-CO <sub>2</sub> /月	2%削減 (15,672kg-CO <sub>2</sub> /月)	9.1%削減 (14,250kg-CO <sub>2</sub> /月)	○

No.	環境経営目標項目	基準値	2021年度目標 (2020年9月～ 2021年8月)	結果	評価
3	受託廃棄物の収集運搬量の拡大	299 t/月	2%拡大 (305 t/月)	2.5%縮小 (301 t/月)	×
4	水使用量の削減	(50 m <sup>3</sup> /2ヶ月)	現状維持 (50m <sup>3</sup> /2ヶ月)	18.0%削減 (41m <sup>3</sup> /2ヶ月)	◎
5	自社からの廃棄物排出量削減	—	現状維持 (分別基準の順守)	現状維持	○
6	出張所の環境活動	—	活動実績 (活動の有無)	活動実施	○

※評価の目安：◎目標±10%以上達成 ○目標達成 ×目標未達 ××目標±10%以上未達成

## 【評価】

### 1 電気使用量の削減

電気使用量の削減テーマは冬場の電気使用量が目標値を下回らず苦戦をし、3カ月連続未達となり、不適合が発生しました。省エネ活動を再徹底し、4月頃から効果が見られましたが、最終的に僅かですが0.1%の増加となり目標は未達成となりました。

しかし、後半は省エネ活動の再徹底の効果が表れていましたので、次年度の活動は次年度目標値をそのままに、チャレンジすることになります。

### 2 軽油使用量の削減（燃費の向上）

軽油使用量削減テーマは目標比6.7%向上し、目標を達成しました。

軽油使用量の増減は運転方法と車両の経年劣化の影響を強く受けますので、エコドライブ及び車両整備等の徹底を今後とも推進し、軽油使用量削減に努めます。

### \* 二酸化炭素排出量の削減

二酸化炭素排出量は目標比9.1%の削減となり目標は達成できました。二酸化炭素排出量の9割を占める軽油の使用量を抑えられたことが目標達成の要因と考えます。

引き続き軽油使用量の削減活動を推進し、二酸化炭素排出量削減に努めます。

### 3 受託廃棄物の収集運搬量の拡大（産業廃棄物の適正処理への貢献）

廃棄物の収集運搬量は年度スタート時から目標未達が連続し、不適合が発生しました。

収集運搬量を回復するべく努めましたが、減少傾向に歯止めがかからず目標比2.5%の縮小となり、目標を達成できませんでした。しかし、収集運搬量が減少傾向の中でも、縮小傾向は通年で2.5%と思ったより低かったため、①新規顧客の開拓②排出元に対する啓蒙活動の推進③収集運搬ルートの効率化の手段を再徹底し、次年度目標値（308t/月）をチャレンジします。

### 4 水使用量の削減

水使用量は目標比18%の削減となり、大幅に目標を達成しました。

近隣対策として、粉塵対策が益々強化されており、散水などの回数や量が増加する中、水使用量削減の目標を達成することができたのは、節水教育などの効果が上がったものと考えます。

今後も節水教育等を徹底し、引き続き水使用量の削減に努めます。

### 5 自社からの廃棄物排出量削減

裏紙を再利用したり、両面印刷の機能を積極的に活用し、自社からの紙ごみの排出量抑制に努めています。また、産業廃棄物は分別の徹底により再資源化に取り組みました。

引き続き実施し、現状維持に努めます。

### 6 出張所の環境活動

今年度から出張所のあるシェルブリカンツジャパン(株)横浜事業所内の環境活動为目标に加えました。従業員の環境に関する啓蒙活動が中心ですが、1年間滞りなく①廃棄物の分別徹底②節電③節水活動を行いました。次年度も引き続き活動を実施していきます。

## 7. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

環境活動計画の内容		評価点	取組結果と次年度の取組内容
①	二酸化炭素排出量の削減	5	・下記②及び③のテーマ活動の推進
②	電気使用量の削減	4	・空調の適正温度管理 ・節電教育の実施
③	軽油使用量の削減	5	・エコドライブの推進 ・配車の最適化 ・アイドリング・ストップの励行
④	受託廃棄物の収集運搬量拡大	4	・顧客への啓蒙活動とPRの推進
⑤	自社からの廃棄物排出量削減	5	・失敗コピーの削減 ・コピー用紙の裏紙再利用 ・産業廃棄物、中間処理廃棄物の分別の徹底
⑥	上水使用量の削減	5	・節水意識向上教育の実施 ・節水表示

(評価点) 5点: 大変良い 4点: 良い 3点: 普通 2点: 悪い 1点: 非常に悪い

(評価点は総合的に判断した担当者による官能評価である)

## 8. 次年度以降の環境経営目標の追加及び変更項目

2022年度環境経営目標の変更はありません。

### 2020～2022年度 環境経営目標

No.	環境経営目標項目	基準値 (2019年度)	2020年度目標 (2020年9月～ 2021年8月)	2021年度目標 (2021年9月～ 2022年8月)	2022年度目標 (2022年9月～ 2023年8月)
1	電気使用量の削減	2019年度実績 1,274 kWh/月	1%削減 (1,261 kWh/月)	2%削減 (1,249 kWh/月)	3%削減 (1,236 kWh/月)
2	軽油使用量の削減 (燃費の向上)	2020年度実績 3.70 km/L	2019年度実績維持 (4.46 km/L)	2020年度実績維持 (3.70km/L)	2020年度実績維持 (3.70km/L)
*	二酸化炭素排出量の削減	2020年度実績 (15,991 kg-CO <sub>2</sub> /月)	1%削減 (10,646 kg-CO <sub>2</sub> /月)	2%削減 (15,672 kg-CO <sub>2</sub> /月)	3%削減 (15,511 kg-CO <sub>2</sub> /月)
3	廃棄物収集運搬量の拡大	2019年度目標 299 t/月	1%拡大 (302 t/月)	2%拡大 (305 t/月)	3%拡大 (308 t/月)
4	水使用量の削減	2020年度目標 50 m <sup>3</sup> /2ヶ月	2019年度実績維持 (42.0 m <sup>3</sup> /2ヶ月)	2020年度実績維持 (50.0 m <sup>3</sup> /2ヶ月)	2020年度実績維持 (50.0 m <sup>3</sup> /2ヶ月)
5	自社からの廃棄物 排出量削減(一廃・産廃)	—	現状維持 (分別基準の順守)	現状維持 (分別基準の順守)	現状維持 (分別基準の順守)
6	出張所の環境活動	—		活動実績 (活動の有無)	活動実績 (活動の有無)

※2023年度目標は2022年度終了後、2023年9月に設定する。

## 9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

令和4年8月に環境関係法令の遵守状況を確認した結果、問題はありませんでした。

主な環境法令は以下の通りです。

・廃掃法、・貨物自動車運送事業法 ・労働安全衛生法 ・フロン排出抑制法 等です。

なお、過去5年間、関係当局からの違反及び近隣からの苦情等の指摘はなく、また訴訟もありません。

## 10. 代表者による全体の評価と見直しの結果

今年度こそは全テーマの目標を達成するべく活動しましたが、電気使用量の削減と受託廃棄物の収集運搬量の拡大テーマが目標を達成できず、残念な年となりました。しかし、次年度の活動は両テーマともに目標値は変更せずに2022年度の目標値で活動することとしました。両テーマの活動実績を昨年の結果と照らし合わせると2022年度目標値では厳しいとは思いますが、未達成率が僅かでしたので達成手段はそのままに、チャレンジすることになりました。特に収集運搬量の拡大テーマは事業の核となるテーマで、収集運搬量の減少傾向を受け入れるとジリ貧になっていきますので巻き返しの意味を込めて2022年度目標をターゲットに活動することとしました。

したがって、環境経営方針、環境経営目標・計画及び実施体制の変更はありません。

### ★ 産業廃棄物処分業事業の施設一覧

設置場所：神奈川県鶴見区朝日町一丁目17番3 (12.0㎡)

施設	施設の種類 (設置年月日)	産業廃棄物の種類	処理能力 又は保管量	保管の形態
中間 処理 施設	破砕施設 (平成28年7月21日)	廃プラスチック類	3.8t/日(8時間)	/
		木くず	4.2t/日(8時間)	
		ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	4.9t/日(8時間)	
	圧縮施設 (平成28年7月21日)	廃プラスチック類	7.2t/日(8時間)	
		金属くず	29.6t/日(8時間)	
保管 施設	受入廃棄物保管施設	廃プラスチック類(破砕)	保管面積2.0㎡ 最大保管量1.0㎡×2	フレコン2台
		廃プラスチック類(圧縮)	保管面積1.0㎡ 最大保管量1.0㎡×2	フレコン2台 ×2段積
		金属くず(圧縮)	保管面積1.0㎡ 最大保管量1.0㎡×2	フレコン2台 ×2段積
		ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず (破砕)	保管面積1.0㎡ 最大保管量1.0㎡	フレコン1台
		木くず(破砕)	保管面積1.0㎡ 最大保管量1.0㎡	フレコン1台
	処理後の廃棄物保管施設	廃プラスチック類(破砕)	保管面積2.0㎡ 最大保管量1.0㎡×2	フレコン2台
		廃プラスチック類(圧縮)	保管面積1.0㎡ 最大保管量1.0㎡×2	フレコン2台 ×2段積
		金属くず(圧縮)	保管面積1.0㎡ 最大保管量1.0㎡×2	フレコン2台 ×2段積
		ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず (破砕)	保管面積1.0㎡ 最大保管量1.0㎡	フレコン1台
		木くず(破砕)	保管面積1.0㎡ 最大保管量1.0㎡	フレコン1台